

国際的な視野を持つ人材の育成について

総務局

青少年海外派遣事業

- 1 青少年の翼事業（平成2年度～） ※令和2～4年度は、新型コロナの影響で休止
鹿児島市の青少年が外国の歴史及び文化に触れ、外国での生活を体験することによって、国際的視野を広げ、外国との親善を深めるとともに、本市の国際化の推進に寄与する人材育成を図る。

【事業内容】

- (1) ナポリ市（平成2年度～）・ストラスブール市（令和元年度～）
派遣対象：高校生・大学生等 計8名程度
- (2) パース市（平成2年度～）
派遣対象：高校生 8名程度
- (3) マイアミ市（平成3年度～）
派遣対象：中学生・高校生 計8名程度
- (4) 長沙市（平成11年度～）
派遣対象：高校生・大学生等 計8名程度
- (5) マラッカ市（平成21年度～）
派遣対象：中学生・高校生 計8名程度

※渡航経費の8割を市が補助

※これまでの派遣実績：1065名（平成2年度～令和元年度）



ストラスブール市



マイアミ市

- 2 青少年国際交流オンライン体験事業（令和4年度）
新型コロナウイルスの影響が続く中においても、青少年の国際的視野を広げる機会を創出するため、市内の中学生、高校生、大学生等を対象に姉妹友好都市等とのオンライン交流を行う。

- (1) 内容：現地の街並や市民生活の様子を生中継で紹介するリモートツアー、学校交流など（各回25名程度）
- (2) 場所：国際交流センター
- (3) 期日：パース市（8月10日）、ナポリ市（11月5日）
長沙市・マイアミ市（11月23日）、
ストラスブール市（12月上旬）



パース市マター・デイ・カレッジ生徒との交流

- 3 青少年東南アジア派遣 ※令和2～4年度は、新型コロナの影響で休止
青少年の国際性を養うため、「鹿児島県青少年国際協力体験事業（主催：同実行委員会）」により、中学・高校生（計3名程度）を派遣

国際交流センターにおける事業

令和2年度に開館した国際交流センターを拠点として、在住外国人や留学生等と子どもたちとの交流や国際理解に関する取組を含む各種事業を行い、市民の国際交流に関する機会を創出し、国際相互理解を促進することにより、本市の国際交流や多文化共生の地域づくりを推進する。

【主な事業内容（令和3年度実績による）】※年間約30種類のイベントを実施（約1600名参加）

- 1 子ども同士の異文化交流会
(1) セタ交流会～マレー語であそぼう～
マレーシア出身講師による絵本の読み聞かせや、日本人講師によるセタの紹介、紙芝居等
(2) HALLOWEEN2021
ALTや周辺地域の住民の協力によるハロウィンの紹介や体験等
- 2 世界の台所
鹿児島在住の外国人住民講師による各国の料理作りと文化講座を12回開催（南アフリカ、ブルガリア、アルゼンチン、台湾等）
- 3 新入外国人の歓迎交流会～ハーティーパーティー～
新入在住外国人をはじめとする外国人と日本人学生等による民族衣装の試着や日本の遊び体験等を通じた交流会



セタ交流会～マレー語で遊ぼう～



新入外国人の歓迎交流会～ハーティーパーティー～

アジア青少年芸術祭開催事業 ※令和2～4年度は新型コロナの影響で休止

アジア各国と鹿児島の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して、青少年の国際性を育み、郷土への誇りと熱い志を持つ青少年の育成を図るとともに、市民の国際交流意識の高揚を図る。

中学・高校・大学生等による青少年ボランティアのワーキンググループスタッフ（例年100名程度）が、企画・運営に参加

- 主 催：かごしまアジア青少年芸術祭実行委員会
（鹿児島市、南日本新聞社、(公財)国際交流財団、鹿児島大学留学生会など14団体で構成）
- 開催時期：10月中旬の土曜日（青少年音楽祭）、日曜日（「アジアンステージ」ほか）
- 会 場：宝山ホール（青少年音楽祭）、中央公園ほか（「アジアンステージ」ほか）
- 参 加 国：8～10か国・地域（中国（長沙・香港）、台湾、韓国、マレーシア、シンガポール、タイ等）

令和3年度は、代替イベントとして、「アジアン・鹿児島～かごしまアジア青少年芸術祭～オンライン音楽祭」を開催し、本市の約80人の青少年等が、マレーシア、インドネシア、韓国、タイの青少年音楽団体とオンラインによりパフォーマンスの披露や質疑応答を通して交流